

突然驚かせてすみません。

秋坂弘治といます。こちらの喫茶店の向かい側のビルのアメニティ企画で働いています。あなたはきつとご存じないと思いますが、ぼくは毎日昼休みにここに来て、あなたと会つのを楽しみにしています。

けれどあなたは、パートかなにかなのでしょう。仕事している時間がいろいろで、会えないこともしばしばあつて、そんな日は、午後から気分が乗らず、よくミスをします。この間は社長を部長と呼んでしまい、頭をグーでなぐられました。

こんな形で手紙を手渡しするなんて、奇妙な男だと心配しないでください。あなたにだけは、声をかけるのも緊張してしまうのです。

いつか、ぼくの知っている麻布のレストランで、食事でもしたいと思つてるのですが、いかがでしょうか。

あなたの名前と携帯の番号を、メモで教えてください。